

令和2年度
ふるさと
くまもと応援
寄附金

使途事業報告書

 熊本県



熊本を応援してくださっている皆様へ

「ふるさとくまもと応援寄附金」をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

本県は、平成28年熊本地震からの復興途上にある中で、新型コロナウイルス感染症拡大により多大な影響を受け、更に、令和2年7月豪雨による甚大な被害に見舞われました。

私は、4期目となる蒲島県政において、「逆境の中にもこそ夢がある」という信念と誰も取り残さないという強い思いを持ち、熊本地震と球磨川流域の創造的復興を両軸に、新型コロナウイルス感染症等にも対応しながら、「新しいくまもと」を創造し地方創生を実現して参ります。皆様からいただいたご寄附は、そのために大切に活用させていただいております。

この冊子では、それらの代表的な取組みについてご報告させていただきます。

地震、新型コロナウイルス、豪雨災害というトリプルパンチに見舞われた本県の日も早い復旧・復興の実現に全身全霊で取り組んで参りますので、引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年11月

熊本県知事

蒲島 郁夫



平成31年4月から令和2年3月までの間に寄せられた
「ふるさとくまもと応援寄附金」

1,949件 約5億4千万円

◆ ふるさとくまもと応援分

教育・文化の振興
保健・医療・福祉の充実
地域活性化 産業振興
安全で安心な県民生活の確保
環境の保全・再生
熊本地震の復旧・復興支援
令和2年7月豪雨災害の復旧・復興支援(令和2年7月以降)

◆ くまモン応援分

「100年後も愛されるくまモン」を目指すため、くまモンの活動に活用します。



◆ 夢教育応援分

子どもたちの教育に役立てます。
また、応援する県内高等学校・特別支援学校(高等部)、その他団体等を指定されると寄附額の半額を交付します。

◆ 新型コロナウイルス感染症対策分(令和2年5月以降)

新型コロナウイルスの感染症拡大防止や、県民生活・県経済への影響の最小化、社会・経済活動の回復等に向けた取り組みに、幅広く活用します。

※令和元年度分の寄附ではありませんが、新型コロナウイルス感染症対策への取組みについては、令和2年度に寄せられた寄附金を令和2年度に活用しているため、今回掲載しております。

寄せられた寄附金で実施する事業 目次

これまでにいただいた寄附金の一部を
次の事業に活用させていただきます

ふるさとくまもとづくり応援分

01 熊本地震の記憶や経験・教訓を後世に伝える取組みを行っています	3
02 熊本地震の記録をインターネットで発信しています	4
03 学校における働き方改革を進める取組みを行っています	4
04 幼児教育の質の向上のための取組みを行っています	5
05 生活に困窮している方への支援や子供への学習支援を行っています	5
06 離島の地域活性化や医療提供体制の強化への支援を行っています	6
07 児童虐待の未然防止や早期対応に取り組んでいます	7
08 地域づくりへの取組みを支援しています	7
09 阿蘇の草原を次世代に繋げる取組みを行っています	8
10 養殖業の生産性の向上に向けた取組みを行っています	8
11 土砂災害のおそれのある危険区域からの移転を支援しています	9
12 交番機能の強化を進めています	9
13 ボランティア等と連携した見守り活動を行っています	10

くまモン応援分	10
---------	----

夢教育応援分	11
--------	----

新型コロナウイルス感染症対策分

01 新型コロナウイルスの影響で困窮した学生を支援しています	12
02 新型コロナウイルスの影響を受けた子どもたちを支援しています	12

01 熊本地震の記憶や経験・教訓を後世に伝える取組みを行っています



熊本地震の教訓などを確実に後世に伝え、今後の災害対応に活かすために、県内各地に点在する震災遺構などを活用した「熊本地震震災ミュージアム」の実現に向けた取組みを進めています。

令和2年8月から阿蘇郡南阿蘇村の旧東海大学阿蘇キャンパス内にある震災遺構(旧1号館及び地表地震断層)を公開し、県内外から多くの方々にご来場いただいています。

また、各震災遺構において、熊本地震に関する情報や体験談を来場者に分かりやすくお伝えする「語り部」を養成する研修を行っています。

さらに、より多くの方々へ熊本地震震災ミュージアムの取組みを周知するためホームページを開設し、情報を発信しています。

URL : <https://kumamotojishin-museum.com/>

熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業
寄附金充当額 10,000 千円

02 熊本地震の記録をインターネットで発信しています



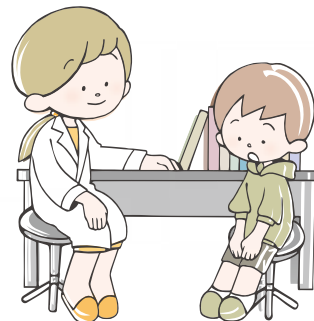
自治体や関係団体から収集した被災時の写真や記録誌などの関連資料を「熊本地震デジタルアーカイブ」として専用サイトで公開しています。定点撮影のコーナーでは復旧・復興の様子も確認できます。

今後もサイトを充実させ、全国の災害対応力の向上につなげていきます。

URL : <https://www.kumamoto-archive.jp/>

熊本地震デジタルアーカイブ事業
寄附金充当額 26,884 千円

03 学校における働き方改革を進める取組みを行っています



教員が児童生徒と向き合う時間等をより多く確保することができるよう、教員への業務支援を行うスクールサポートスタッフや児童生徒への支援を行う非常勤講師等を配置し、学力向上や学校教育活動の充実を図っています。

児童生徒の学力向上などの効果が得られているとともに、教員の負担軽減が図られ、学校における働き方改革が推進されています。

教育サポート事業
寄附金充当額 75,000 千円

04 幼児教育の質の向上のための取組みを行っています



令和2年4月に熊本県幼児教育センターを開設し、幼児教育の質の向上を図っています。

市町村や幼児教育施設、小学校等を対象とした各種研修や、幼児教育アドバイザー派遣、相談窓口による支援、調査研究などの取組みを進めています。

また、新規に採用された幼稚園等の教員・保育士等を対象とした研修を実施し(年8回)、実践的指導力や使命感を養い、幅広い知見を習得できるよう取り組んでいます。

幼児教育推進体制の充実・活用強化事業
肥後っ子ががやき推進事業
寄附金充当額 4,000 千円

05 生活に困窮している方への支援や子供への学習支援を行っています



生活に困窮している方に対して、各市町村の自立相談支援窓口 に配置している相談支援員が相談者の課題に応じて、就労支援、緊急的な宿泊場所(シェルター)の提供、子どもの学習支援などを行っています。令和元年度は、県内全体で2,905件の新規相談に対応しました。

今年度は、ひきこもりの方への支援にも力を入れて取り組んでいます。

生活困窮者総合相談支援事業
生活困窮者自立支援プラン推進事業
寄附金充当額 40,000 千円

06 離島の地域活性化や医療提供体制の強化への支援を行っています

天草地方の有人離島である御所浦地域や湯島では、人口減少や高齢化が急速に進んでいることから、地域活性化事業に取り組むとともに、離島のハンディキャップ解消を目指し、交通、医療に関する事業に取り組んでいます。

【地域活性化】

御所浦地域では、島外からの交流人口を増やすために、体験型や宿泊型の様々な観光の目玉づくりを行ったり、民宿や空き家等の改修補助等を実施しています。

湯島では、島民の暮らしを支えるため、超高速通信網(光ファイバー)の利用促進や公園の整備を支援しています。

【交通費補助】

御所浦島民が乳幼児健診・産婦健診を受診する際や障がい者福祉サービスを受ける際に、定期船を利用して島を往復する交通費を支援しています。

【医療提供体制確保】

御所浦地域の数少ない医療機関である御所浦診療所等の建替や医療機器の整備等、勤務医の継続的な確保、医学部実習生及び専攻医の受入れ等に対する支援を行っています。



御所浦地域活性化推進事業
湯島活性化推進事業
施設通所等交通費支援事業
御所浦医療提供体制強化支援事業
寄附金充当額計 28,000 千円

07 児童虐待の未然防止や早期対応に取り組んでいます



深刻な社会問題である児童虐待の相談対応件数は年々増えていることから、児童虐待を未然に防止し、早期に発見、対応できるように、市町村等の関係機関と連携して対応に取り組んでいます。

今年度は、児童相談所の機能を補完し、市町村への専門的支援を担う「児童家庭支援センター」を新たに3箇所設置し、迅速できめ細かな対応を行い、子どもたちを虐待から守ります。

児童家庭支援センター事業
寄附金充当額 9,000 千円

08 地域づくりへの取り組みを支援しています



県内各地域の特性や資源を活かして、市町村や地域団体等が自主的に行う地域活性化の取り組みなどを総合的に支援しています。

令和元年度は、郷土料理教室、スローフードフェアの開催等の食による交流促進の取り組み等をはじめ、様々な地域づくりの取り組みを支援しました。

令和2年度は、コロナ禍での地域活性化に資する取り組みなどを支援しています。

地域づくりチャレンジ推進事業
寄附金充当額 125,000 千円

09 阿蘇の草原を次世代に繋げる取組みを行っています



阿蘇の草原は、これまで、「野焼き」により維持されてきましたが、近年は畜産農家の高齢化や後継者不足等により「野焼き」の継続が難しくなっています。

そのため、阿蘇の草原の将来世代への継承を目的として、草原再生の支え手の拡充や野焼き再開に向けた先導的・実証的な取り組みを支援しています。

阿蘇草原再生事業
寄附金充当額 6,000 千円

10 養殖業の生産性の向上に向けた取組みを行っています



技術の習得に多くの時間が必要な養殖魚への給餌を、経験が少なくても最適な状態にできるようにするため、ICT(情報通信技術)を利用した魚類養殖生産技術を開発し、県内に普及させることで、県内魚類養殖業の労働効率化や生産性向上を目指しています。

今年度は、水温等を計測する機器を設置し、そのデータを自動給餌機と連携させることで、効率的な養殖管理ができるよう取り組んでいます。

スマート養殖業技術開発事業
寄附金充当額 10,000 千円

11 土砂災害のおそれのある危険区域からの移転を支援しています



大雨などによるがけ崩れや土石流等が発生する危険性が高い土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)から安全な区域への住宅移転を進めています。移転に必要な経費、住宅建設・購入費又は賃貸住宅家賃(1年分)等を最大300万円まで補助し、安全な暮らしの実現を支援しています。

県内の土砂災害特別警戒区域内には約2万戸の人家があることから、今後も引き続き推進していきます。

危険地区からの移転促進事業
寄附金充当額 55,000 千円

12 交番機能の強化を進めています



県民からの「いつも交番に誰かいて欲しい」「いつもパトロールして欲しい」という要望に応えるために、16警察署58交番に警察OBの相談員65人を配置し、落とし物などの届出の受理、相談対応、地理案内等を行っています。

交番相談員を配置することで不在状態を解消し、交番警察官によるパトロールを始めとする街頭活動の強化につなげています。

会計年度任用職員雇用事業のうち交番相談員の任用
寄附金充当額 100,000 千円

13 ボランティア等と連携した見守り活動を行っています



警察OBを中心とした「県警声かけ・訪問隊」(通称「県警ひまわり隊」)を結成し、ボランティア等と連携して、高齢者を主な対象とした個別訪問活動や通学路における子供の見守り活動などの安全対策を行っています。

令和元年度は、約55,000件の高齢者世帯等の個別訪問、66回の交通安全教育・「電話で『お金』詐欺」被害防止講話等を行いました。

※令和元年中の交通事故死傷者数887人(前年比-191人)、

「電話で『お金』詐欺」被害件数72件(前年比-13件)

くまもとの「まち」と「ひと」を守る声掛け安心実現事業
寄附金充当額 51,000 千円

くまモン応援分

「くまモン隊」の活動を支援しています



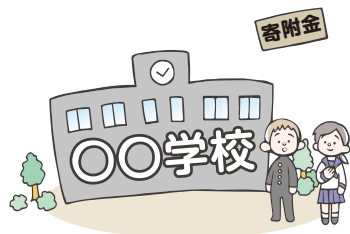
九州新幹線開業をきっかけに誕生した熊本県のPRキャラクター「くまモン」は、多くの方々の応援を受け、令和2年3月にはデビューしてから10周年を迎えることができました。

国内外で様々なチャレンジを続けている「くまモン」が100年後も愛されるキャラクターとなることを目指して、平成30年度に「熊本県くまモン活躍基金」を設置しました。「くまモン応援分」のご寄附や海外でのイラスト利用料などを積み立て、継続的な活動を支援していきます。

くまモン活躍基金積立金
寄附金充当額 20,000 千円

夢教育応援分

高等学校等に寄附金を 交付しました



学校等を指定して行われた寄附については、寄附金の2分の1を、指定された学校等にお渡します。

寄附金は、各学校等で図書や運動用具を購入するなど、有効に使われます。

また、寄附金の残り2分の1は、県の教育振興事業に使われています。

夢教育応援補助
寄附金充当額 425 千円

被災した世帯の 大学進学等を 支援しています



進学には様々な費用が必要となりますが、熊本地震により被災した世帯では、生活の再建などにおいて、既に大きな経済的負担を強いられています。その負担を軽減するため、被災した世帯の子どもが大学等に入学する際に必要な費用を、給付金として支給します。奨学金と合わせて経済的な不安を軽減し、進学したいという夢を後押しします。

夢応援進学資金給付事業
寄附金充当額 4,000 千円

海外大学への進学等を 支援しています



海外大学進学のために必要な英語力や思考力、表現力向上のための講座等を行う「海外チャレンジ塾」を開催するほか、海外大学進学や海外高校留学のための資金を援助するなど、海外を目指す生徒の夢の実現に向けた支援に取り組んでいます。

熊本時習館海外チャレンジ推進事業
寄附金充当額 1,800 千円

新型コロナウイルス感染症対策分

01 新型コロナウイルスの影響で困窮した学生を支援しています

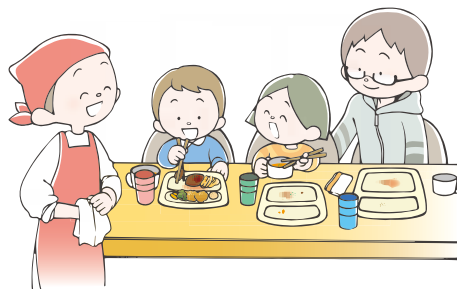


新型コロナウイルスの感染症拡大の影響から、大学生や専修学校生等が修学費用を賄えなくなるなど、学びの継続の危機に直面しています。

このため、県内大学等や県出身で県外大学等に進学した学生に5万円を給付する制度を創設し、学生の学びの継続支援に取り組んでいます。

生活困窮大学生等のための給付金交付事業
寄附金充当額 217,423 千円

02 新型コロナウイルスの影響を受けた子どもたちを支援しています



新型コロナウイルス感染症拡大により、子どもたちに食事や居場所を提供する子ども食堂の多くが活動の休止を余儀なくされ、主な利用者である子どもたちの生活に影響が出ています。

こうした状況に対応するため、県内の子ども食堂に対し、新型コロナウイルス感染症予防に必要な衛生対策等の経費を助成し、子ども食堂を安全・安心に利用できる環境づくりに取り組んでいます。

子ども食堂活動支援事業
寄附金充当額 15,000 千円

令和元年度(2019年度)ふるさとくまもと応援寄附金 充当事業(令和2年度(2020年度)実施分)

単位：千円

※一部、令和元年度以前や令和2年度に寄せられた寄附金の積立分も充当しています。

ふるさとくまもとづくり応援分

事業名	寄附金充当額	ページ
1 災害弔慰金事業	5,000	
2 熊本地震を踏まえた自殺予防等対策推進事業	5,000	
3 熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業	10,000	3
4 「ONE PIECE」連携復興応援事業	85,438	
5 熊本地震デジタルアーカイブ事業	26,884	4
6 世界文化遺産登録推進事業	30,000	
7 「くまもと手仕事ごよみ」推進事業	4,000	
8 くまもと国際音楽祭支援事業	6,000	
9 教育サポート事業	75,000	4
10 「親の学び」推進事業	5,500	
11 子どもの読書活動推進支援事業	1,000	
12 キャリア教育等推進事業	2,000	
13 高校生キャリアサポート事業	30,000	
14 スクールカウンセラー活用事業	80,000	
15 スクールソーシャルワーカー活用事業	60,000	
16 いじめ防止対策推進事業	8,000	
17 いじめ未然防止推進事業	3,000	
18 幼児教育推進体制の充実・活用強化事業	3,000	5
19 肥後っ子ががやき推進事業	1,000	5
20 特別支援学校キャリアサポート事業	5,000	
21 子どものスポーツ環境整備支援事業	15,000	
22 施設通所等交通費支援事業(御所浦振興)	1,000	6
23 生活困窮者総合相談支援事業(通常分)	20,000	5
24 生活困窮者自立支援プラン推進事業(通常分)	20,000	5
25 産前・産後母子支援事業	1,500	
26 児童家庭支援センター事業	9,000	7
27 里親推進事業のうち里親養育包括支援(フォスタリング)事業	14,000	
28 社会的養護自立支援事業	3,000	
29 地域療育総合推進事業のうち障害児等療育支援事業(地域療育センター)	10,000	
30 発達障がい者支援体制整備事業のうち発達障がい地域支援体制サポート事業	4,000	
31 発達障がい者支援医療体制整備事業のうち発達障がい診断待機解消事業	5,000	
32 御所浦医療提供体制強化支援事業	15,000	6
33 熊本県がん患者好よう性温存治療費助成事業	1,000	
34 ハンセン病事業費のうちハンセン病回復者・家族支援事業	6,000	
35 地域づくりチャレンジ推進事業	125,000	7

事業名	寄附金充当額	ページ
36 スポーツによる地域活性化事業	5,000	
37 阿蘇草原再生事業	6,000	8
38 御所浦地域活性化推進事業	6,000	6
39 湯島活性化推進事業	6,000	6
40 がまだす里モン支店事業	7,000	
41 中山間農業モデル地区支援事業	74,000	
42 空家等対策総合支援事業のうち空家利活用モデル事業	3,000	
43 阿蘇くまもと空港国際線振興対策事業	30,000	
44 事業承継加速化推進事業	2,000	
45 商工会商工会議所・商工会連合会補助(事務・事業費分)	8,000	
46 市町村施設整備促進事業	10,000	
47 スマート農業普及推進事業	12,000	
48 畜産経営アップ事業	5,000	
49 阿蘇草原スマート農業実証事業	1,000	
50 熊本型新規就農総合支援事業	20,000	
51 熊本とつながる農業外国人人材育成事業	5,000	
52 くまもと農のひとづくり事業	3,000	
53 くまもと農業の継承支援事業	50,000	
54 スマート農業実践にやる就農促進事業	1,000	
55 スマートな農村づくり検討・実証事業	17,000	
56 林業イノベーション現場実装推進事業	6,000	
57 くまもとの木材グローバルセールス支援事業	5,000	
58 くまもとの漁村元気づくり事業	13,000	
59 新しい漁村を担う人づくり事業	4,000	
60 スマート養殖業技術開発事業	10,000	8
61 水保・芦北地域水産物ブランド創出事業	500	
62 スマート沿岸漁業推進事業	2,000	
63 実践的地域防災力強化事業	5,500	
64 災害医療対策事業のうち熊本DMAT員養成・技能維持研修事業	500	
65 災害時緊急医薬品等供給対策事業	1,000	
66 土砂災害警戒避難対策事業	210,000	
67 危険地区からの移転促進事業(砂防課)	50,000	9
68 治水堤防費	101,000	
69 危険地区からの移転促進事業(建築課)	5,000	9
70 危険ブロック塀等安全確保支援事業	13,000	

事業名	寄附金充当額	ページ
71 くまもとの「まち」と「ひと」を守る声掛け安心実現事業	51,000	10
72 安全で安心なまちづくり事業費のうち警察安全相談員の設置	20,000	
73 会計年度任用職員雇用事業のうち交番相談員の任用	100,000	9
74 迅速・的確な初動警察活動の強化	160,000	
75 環境保全型農業総合支援事業	12,000	
76 地下水と土を育む農業総合推進事業	66,500	
77 耕作放棄地解消事業	7,000	
78 森林環境保全整備事業	100,000	
79 調和的A増殖対策事業	1,500	
80 内水面漁業振興対策事業	2,000	
81 有明海・八代海再生事業	8,000	
82 グローバルジュニアアドリーム事業	3,000	
83 動物愛護推進事業	29,000	

くまモン応援分

84 くまモン活躍基金積立金	20,000	10
----------------	--------	----

夢教育応援分

85 有斐学舎運営費補助	181	
86 夢教育応援補助	425	11
87 夢応援進学資金給付事業	4,000	11
88 熊本時習館海外チャレンジ推進事業(高校生留学支援)	500	11
89 熊本時習館海外チャレンジ推進事業(海外チャレンジ塾)	300	11
90 熊本時習館海外チャレンジ推進事業(海外大学進学資金給付)	1,000	11
91 夢教育応援事業	8,772	
92 高校生の留学促進	2,000	
93 英語教育改革推進事業	10,000	

新型コロナウイルス感染症対策分

94 子ども食堂活動支援事業	15,000	12
95 生活困窮大学生等のための給付金交付事業	217,423	12



熊本のすがた



県木 クスノキ



県花 リンドウ



県鳥 ヒバリ



県魚 クルマエビ



人口・世帯数 (R2.8.1現在)	1,737,516人 730,687世帯	平均寿命 (H27厚生労働省)	男：81.22歳 (全国7位) 女：87.49歳 (全国6位)
合計特殊出生率 (H30人口動態統計)	1.69(全国5位)	産業別県内総生産構成比 (H28)	第一次産業 3.5% 第二次産業 25.2% 第三次産業 70.8%

【熊本地震について】

●被害の状況

震度6弱以上 7回(うち震度7が2回) 余震 約4,500回
被災人口 約148万人(県人口の約83%) 最大避難者数 約18.4万人(同10.3%)
家屋被害 約19.8万棟(一部損壊以上)

●復旧・復興の状況 ご支援ありがとうございました

仮設住宅入居者数(R2.8末現在) 998人(最大時47,800人)
災害公営住宅整備戸数 1,715戸(R2.3月末をもって全戸整備完了)
JR豊肥本線 全線復旧(R2.8.8)
熊本市と大分市を結ぶ鉄道が約4年4カ月ぶりに全線運行を再開。

国道57号等全線開通(R2.10.3)
大津町～阿蘇市で寸断されていた国道57号が約4年6カ月ぶりに開通。
別ルートの自動車専用道路も同時に開通し、大きな被害を受けた阿蘇への動脈が復活。

※熊本県の熊本地震関係予算額累計 9,793億円(R2.9月補正予算後)

JR豊肥本線が全線復旧した日の立野駅



令和2年7月豪雨災害の状況

令和2年7月4日未明からの豪雨により、熊本県では甚大な被害が発生しました。引き続きのご支援を賜りますようお願いいたします。



令和2年7月4日午前10時ごろ、熊本県南部を流れる「球磨川」が大雨により氾濫。濁流が近隣流域の集落へ急激に流れ込み、避難できずに取り残された多くの住民がヘリコプターで救助されました。



球磨川に架かる橋は全部で17橋流失し、住民生活に多大な支障を及ぼしています。球磨川流域の八代市坂本町に架かる鉄道橋「球磨川第一橋梁(1908年架橋)」もその一つです。(JR肥薩線は全線運休中)



浸水は天井付近まで到達し、土砂や流木が家の中まで流れ込みました。住居の片づけや家財の運び出し、土砂の除去などに携わる多くの災害ボランティアの力に支えられています。



球磨川のほとりにある国宝「青井阿蘇神社」も拝殿が床上浸水し、門前の「禊橋」(国指定登録有形文化財)欄干が一部流失するなど甚大な被害が生じています。神社には多くの支援物資が集まり、地域住民を心身ともに支えています。



生活や事業活動に必須の自動車も多くの被害を受けました。水の勢いは凄まじく、数百メートルも流されて見つかったものも少なくありませんでした。

●被害の状況(R2.10.1現在)

人的被害	死者65名 行方不明者2名
住家被害	全壊・半壊4,493棟 床上浸水1,519棟
橋梁流失	17橋梁
浸水戸数	約6,280戸 浸水面積(流域全体)約1,150ha
雨量	球磨川中流～上流、 川辺川の観測所で観測開始 以来最大

発行／熊本県総務部市町村・税務局税務課

〒862-8570 (県庁専用郵便番号) 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号(熊本県庁本館3階)

電話 096-333-2098 メール k-furusato-n@pref.kumamoto.lg.jp

発行者：熊本県
所属：税務課
発行年度：令和2年度